

たくましくなって帰ってきました!

# 第10回静岡東部少年の船帰着報告



7月29日から6泊7日、東部3市3町の中学生191人と、研修生リーダー6人、指導員46人は船で北海道へ。航海体験や洋上研修、北の大地でのさまざまな研修を通して『仲間づくり』に励みました。雄大な自然に触れ、初めて出会う仲間とすごした夏。

伊豆の国市から参加した14人の研修生が得たものは…?

問合せ 社会教育課 ☎ 055-948-1461

- 1日目：出発式→大洗港出港
- 2日目：航海教室→苫小牧港下船→大雪青少年交流の家
- 3日目：ハイキング
- 4日目：旭山動物園
- 5日目：ハイジ牧場
- 6日目：北海道開拓の村→白老ポロトコタン→苫小牧港出港
- 7日目：大洗港下船→帰着式



**山元雪那 (大仁中2年)** 最初は不安だったけど、すぐに仲良くなれました。仲間と協力してやりとげる達成感や、集団生活での一人ひとりの役割の重要性を学び、少し成長できたかなと思います。

**藍澤萌 (韮山中2年)** 少年の船に参加して良かったと思うのは、友達の大切さ、皆で協力することの大切さなどたくさんのことを学べた事です。これらを学校や家での生活でいかしていきたいです。

**鈴木淳也 (長岡中1年)** 大雪山のハイキング、夜の星空や流れ星、旭山動物園の動物達、ハイジ牧場での羊毛加工体験など、静岡県では見られない風景やできない体験をすることができました。

**柏木駿哉 (長岡中1年)** 少年の船に参加して良かったのは、友達がたくさんできたこと。日を重ねるごとに班の中の輪が深まっていきました。またこんな研修があれば参加したいと思いました。

**金子愛 (韮山中3年)** 少年の船を通して、私は、本当の協力の意味を知りました。ただ仲良くするのではなく、思いやりの気持ちを大切に、これからも素晴らしい仲間をつくっていききたいです。

**鈴木隆博 (大仁中1年)** 少年の船で一番良かったことは、友達をつくり絆が深められたことです。途中、班が乱れてしまいましたが、皆で話し合ったことで、より仲良くなることができました。

**木内拓海 (韮山中1年)** 僕は、班の仲間と協力するためにはコミュニケーションをとることが大切だと思いました。一番の思い出は、皆で食べたジンギスカンがとてもおいしかったことです。

**齊藤祐希 (韮山中1年)** 1週間テレビもゲームもない中で、他校の学年の違う人とも仲良く過ごせた事はとても良い経験になりました。友達にもぜひ、東部少年の船に参加して欲しいと思いました。

**鈴木貴裕 (長岡中1年)** 最初は同じ班の人と全然話せませんでした。でも船に乗って仲良くなり、最後に友達と別れるときはつらかったです。1週間、この班でよかったです。

**勝呂玲羅 (大仁中2年)** 少年の船に参加して、たくさんの事を学べました。大変な1週間だったけど、多くの仲間とふれあい少したくましくなったと思います。すごく良い思い出になりました。

**中島賢 (長岡中1年)** この少年の船で2つの事を学びました。それは「協力し合うことの大切さ」と「相手を思いやる気持ち」です。この1週間ですぐに話せるようになりました。1週間一緒に過ごした仲間は、私の大切な宝物です。

**鈴木英明 (長岡中1年)** 僕は途中で体調を崩し、3日目のハイキングに参加できず残念でした。この経験から、大事な時に調子が悪くならないよう体調管理に気をつけていきたいです。

**福田千賀子 (長岡中2年)** 最初は3市3町の知らないばかりで、仲良くできるか不安でしたがバスや船の中ですぐに話せるようになりました。1週間一緒に過ごした仲間は、私の大切な宝物です。

**山口宏海 (大仁中2年)** 僕は、人見知りが少し治ったように思いました。知らない中学生とも1週間一緒にいると、仲良くなれることがわかったからです。とてもいい経験をする事ができました。



## 里親になりませんか

子どもたちは温かい家庭生活を求めています!

### ■里親制度とは■

さまざまな事情によって家庭での養育が難しい子どもを、知事の認定した里親に預け、里親家庭の中で温かい愛情をもって育てようとする制度です。

### ■里親になるには■

子どもの養育について理解と熱意、そして豊かな愛情をもっていることが何よりも大切です。里親の申し込みは年間を通いっつも受け付けており、県が実施する研修を修了し、知事が里親として認定した人は、里親名簿に登録されます。

### ■里親の種類■

- ①養育里親…要保護児童を養育する里親(一般的な里親)
- ②専門里親…2年以内の期間、虐待を受けた児童等を養育する里親
- ③親族里親…両親等が死亡、行方不明または拘禁等の状態にある三親等内の要保護児童を養育する里親
- ④養子縁組希望里親…養子縁組によって養親となることを希望する里親

### ■里親になったら■

児童相談所が里親の希望を聞いた上で、養育をお願いする子どもを決定します。養育をお願いしている間は、定められた養育に必要な経費が支払われます。子育ての悩みや不安は、児童相談所等が相談に応じます。

### ■申込み・問合せ■

- 福祉課 ☎ 0558-76-8008
- 東部児童相談所 ☎ 055-920-2083 (里親制度についての問合せ)
- 県子ども家庭課 ☎ 054-221-2922

10月は里親月間



### ■内容■

現在は小学6年生までを対象に入院と通院の医療費助成をしていますが、10月1日(金)から入院医療費のみ中学3年生まで拡大します。

### ■対象■

伊豆の国市内に住民登録があり、健康保険に加入している中学3年生までの子ども

### ■助成される医療費■

子どもが入院した場合にかかった保険診療の自己負担分と、食事療養費標準負担額が助成されます。

- \*保険診療の対象とならない費用(診断書代等)は助成されません。
- \*健康保険から高額療養費が支給される場合は、その支給される金額を除きます。

### ■交付手続■

子ども(中学生)が入院した場合は、受給者証の交付手続きをしてください。受給者を交付します。

\*小学6年生までは、今までどおり受給者証を提示して医療費助成を受けてください。

### ■持ち物■

子どもの健康保険証、印鑑

### ■申込み■

- 福祉課(大仁庁舎)
- 市民サービス課(伊豆長岡庁舎)
- 韮山市民サービス課(韮山庁舎)

### ■問合せ■

福祉課 ☎ 0558-76-8008



## こども医療費助成年齢拡大

10/1(金)から拡大!

入院医療費の補助を中学3年生まで拡大します!

## 登記証明書発行窓口

近くて便利な出張法務局

昨年8月から大仁庁舎に、法務局登記証明書交付窓口を開設しています。登記証明書等が必要な人は、沼津支局まで足を運ぶことなく、身近で手軽に交付を受けることができます。

- 取得できる証明書
  - ①不動産登記の全部事項および現在事項証明書
  - ②商業・法人登記の履歴事項全部および一部証明書、現在事項全部および一部証明書、代表者事項証明書
  - ③会社・法人の印鑑証明書



- 利用料金
  - 登記事項証明書 1通1,000円
  - 印鑑証明書 1通 500円

問合せ 静岡地方法務局沼津支局 ☎ 055(923)1201

